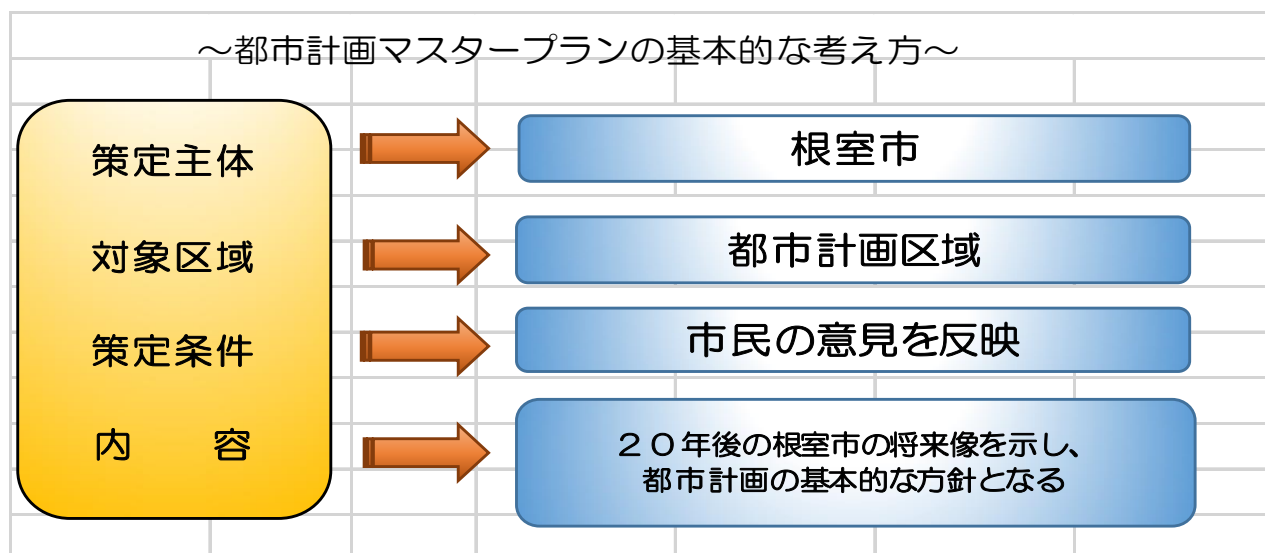


第5章 都市計画マスタープラン

1. 「都市計画マスタープラン」とは

都市計画法の規定により、「市町村は、都市計画に関する基本的な方針」を定めることが責務となりました。この基本的な方針が都市計画マスタープランであり、『市町村が創意工夫の下に住民の意見を反映させて、将来都市像や地域別の都市計画の方針を示す』ものです。



2. 「都市計画マスタープラン」の策定経緯

平成 17 年度に策定した前計画は、令和 6 年度までの 20 年間を計画期間として策定されましたが、急激な社会情勢の変化や市民ニーズの多様化に対応するため、「実質 10 年 1 スパン」の考え方を踏襲し、平成 28 年度からの 20 年間で、新たに計画を策定したものであります。

策定にあたっては、市民アンケートの実施や地域別懇談会の開催、様々な行政計画との整合性を確保するために庁内策定委員会での調整など、多方面から幅広い意見を集約し、都市計画審議会の最終的な審査を経て、決定されたものであります。

3. 「都市計画マスタープラン」の役割

都市計画マスタープランの主な役割は、次に示すとおりです。

(1) 都市計画への市民参加を進めます。

今後の都市計画は、市民と事業者の皆さんと行政と一緒に考えていくことが必要となるため、市民の皆さんが都市計画への理解を深め、一緒に考えることができる市民参加の都市計画を進めます。

(2) 都市計画の目標となる将来の都市像を示しています。

市民の皆さんが都市計画に参加しやすくするため、根室市が目指すべき都市づくりの目標や将来の都市像などを市民の皆さんにわかりやすく示しています。

(3) 総合的・体系的な都市計画の方針を示しています。

これまでの縦割りの都市計画ではなく、将来の都市像を実現するためには各々の都市計画が何をすべきかという総合的・体系的な都市計画の方針を示しています。